

平成 29 年産農作物共済の実績（概要）について

1 水稲

(1) 引受実績

引受戸数は 1,302 千戸（対前年 95.1%）、引受面積は 1,438 千 ha（対前年 99.3%）であり、引受面積の上位 3 県は新潟県（119 千 ha）、北海道（105 千 ha）、秋田県（80 千 ha）となっている。また、共済金額は 945,943 百万円（対前年 98.8%）であり、面積引受率は 92.4%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は 46 千戸、同面積は 29 千 ha となっており、共済金は 3,717 百万円となった。

被害率は、戸数被害率が 3.5%。金額被害率は 0.4%であり、平均共済掛金率（共済掛金／共済金額）0.9%と比べると低い被害率となっている。また、金額被害率が高かったのは、沖縄県（2.7%）、長崎県（1.9%）、大分県（1.5%）、福岡県（1.2%）、鹿児島県（1.1%）であり、主な被害は 9 月中旬以降の日照不足のほか、一部地域における台風に伴う倒伏などであった。

2 陸稲

(1) 引受実績

引受戸数は 68 戸（対前年 68.0%）、引受面積は 29ha（対前年 55.2%）、共済金額は 7,540 千円（対前年 54.9%）であり、面積引受率は 3.6%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は 12 戸、同面積は 7ha となっており、共済金は 710 千円となった。

被害率は、戸数被害率が 17.6%。金額被害率は 9.4%であり、平均共済掛金率（共済掛金／共済金額）12.1%と比べると低い被害率となっている。また、金額被害率が高かったのは茨城県（15.0%）であり、主な被害は風水害、干害などであった。

3 麦

(1) 引受実績

引受戸数は 39 千戸（対前年 93.7%）、引受面積は 267 千 ha（対前年 99.2%）であり、引受面積の上位 3 県は北海道（123 千 ha）、福岡県（21 千 ha）、佐賀県（21 千 ha）となっている。また、共済金額は 127,064 百万円（対前年 101.8%）であり、面積引受率は 97.7%となっている。

(2) 共済金支払実績等

共済金支払対象となった戸数は16千戸、同面積は75千haとなっており、共済金は6,706百万円となった。

被害率は、戸数被害率が33.4%。金額被害率は5.3%であり、平均共済掛金率（共済掛金／共済金額）9.0%と比べると低い被害率となっている。また、金額被害率が高かったのは、秋田県（27.1%）、富山県（10.9%）、静岡県（10.1%）、福井県（8.1%）、広島県（7.6%）であり、主な被害は土壌湿潤害、獣害、低温及び日照不足などであった。